

戦略的情報公開と“社会評価”

2003年5月13日(火)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:10	<p>自己点検評価の進化と情報発信 ~経営戦略としての評価活動と情報開示を~ 教育ジャーナリスト 山岸 駿介</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マスコミの大学報道 ~取材者と大学人とのギャップ~ 2. 報道する難しさ・される難しさ ~“透明大学”化の回避~ 3. 大学評価の時代の戦略的情報開示とは ~マイナス情報の説明責任をいかに果たすか~ <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:20 ~ 15:20	<p>戦略的情報公開による社会評価への挑戦 ~『大学ランキング』編集子からの直言~ 朝日新聞社 清水 建宇</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学評価は情報公開という前提なしには成り立たない <ol style="list-style-type: none"> (1) 外部評価に耐えうる情報公開がなされているのか (2) 入学者、在籍学生数の情報公開度から大学運営を探る (3) 財務状況、授業料の使い道についての学生に対する説明責任 2. 学生数、教員数など基礎データから大学をみる <ol style="list-style-type: none"> (1) AO入学者比率、留学生比率が意味すること (2) 志願者、学生数の経年変化で大学の人気度を探る (3) 教員の純血率、博士学位取得率から教育、研究のあり方を考える (4) 新設大学の学生募集の成功例、失敗例 3. 「大学ランキング」最新版からみた大学評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高校、学長から名前が上がる常連大学 (2) 産学連携、TLOなどに力を入れている大学 (3) メディアへの教員登場で知名度が上がった大学 (4) 「21世紀COEプログラム」に申請した大学の強さと誇り (5) 受験生がもっとも関心を持つ就職状況・就職支援 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:30~17:00	<p>パネ ル 討 論</p>
	<p style="text-align: center;">社会・市場が知りたい大学・学部学科の“情報の質” ~高校・企業・行政等、最前線での現場取材を重ねて~ 司会 水沢 千秋 / ニュープレス</p> <p style="text-align: center;">キーワード</p> <p>パネリスト</p> <p>足立 寛 『ピトウィーン』 中身が見えないまま氾濫する新名称の学部・学科/あなどれない学生からの口コミ/高校の現状を知らなさすぎる/初年次教育・入学後3ヵ月で決まる満足度/キャリア教育を正課に?/教育は学生がつくる</p> <p>小林 哲夫 教育ジャーナリスト ボランティア活動や自治体・地域社会とのつながり/教員の業績(研究、教育上の工夫、社会貢献)/奨学金制度、教育基金の充実ぶり</p> <p>滝 紀子 (学)河合塾 高校生にとってわかりやすい/産業界が求めるものとは/学生不参加の大学改革/問われる大学の教育力</p> <p>千野 信浩 『週刊ダイヤモンド』 企業と同じこと(有価証券報告書)が知りたい/開示した大学が信頼を勝ち得る/20年遅れている報道対応/宝物、歴史とOBを放置していないか</p> <p>安田 賢治 (株)大学通信 「ホンネとタテマエ」で変わる必要情報/「面倒見の良さ」をどうアピール/増える共通一次・JJ世代の子供たち</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
17:10 ~ 18:30	<p style="text-align: center;">《 懇談交流パーティ 》 大学評価・情報公開・社会評価を結ぶ ~講師・パネリスト陣を囲んで~</p>